

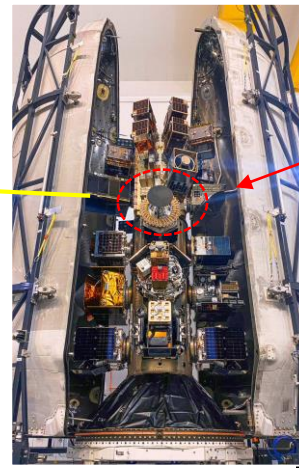
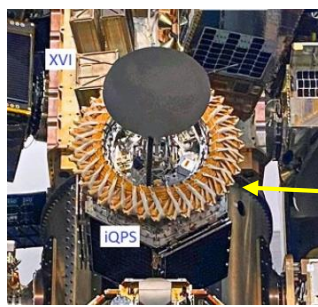
2023年6月18日

# YACかわら版 383

あまてる

AMATERU-III

@QPS\_Inc



SLC-4E

ヴァンデンバーグ宇宙軍基地

6月13日06:35:00 JST、米国カリフォルニア州ヴァンデンバーグ宇宙軍基地SLC-4Eからファルコン9が打ち上げられました。72個の小型衛星と超小型衛星を太陽同期軌道へ打上げるトランスポーター8ミッションでした。

ファルコン9のフェアリング内に九州のQPS研究所の人工衛星QPS-SAR 6号機「AMATERU-III」が積みこまれていました。軌道上でアンテナの展開にも成功しました。重量170kgの衛星です。計画では軌道上の36機のSAR衛星で、準リアルタイムに地球を観測することを目指しています。QPS研究所は「宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献する」ことを理念としています。

QPS研究所のSAR衛星は、だいち2号やセンチネル1と同じような電波で観測する衛星です。全天候での観測ができます。

QPS-SAR 1号機「イザナギ」→2019年12月11日、インドのサティシュ・ダワン宇宙センターからPSLV C-46ロケットで打上げ。衛星機能の95%成功しましたが画像化はできませんでした。

QPS-SAR 2号機「イザナミ」→2021年1月25日、アメリカのフロリダ州のケープカナベラル空軍基地からファルコン9が143機の小型衛星等を打上げましたが、そのうちの1機でした。その打2021年5月13日空間分解能70cmのSAR画像取得に成功しました。(センチネル1のそれは10mです)

\* QPS-SAR-3とQPS-SAR-4は、2022年10月12日打上のイプシロン6号機に積まれていたので失われました。

\* QPS-SAR-5は当初、アメリカのカリフォルニア州モハーヴェを離陸するバージンオービット社のB747の翼下のランチャーワンロケットを利用して打ち上げる予定でした。



6/3~7、福岡県久留米シティプラザ2階展示室で34回ISTS(宇宙技術および科学の国際シンポジウム)久留米国際宇宙展が開催されたそうです。その展示の様子です。

[https://twitter.com/QPS\\_Inc](https://twitter.com/QPS_Inc)



切離し開始は1時間19分30秒後



離れて軌道に

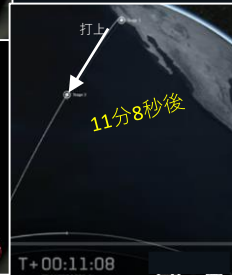
打上

11分8秒後

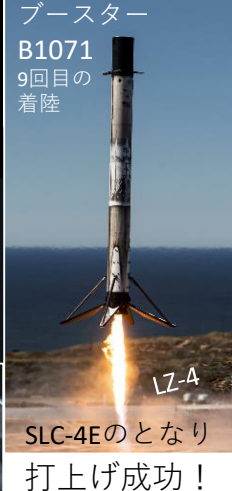
@QPS\_Inc



ミッションマーク



T+00:11:08



ブースター B1071 9回目の着陸

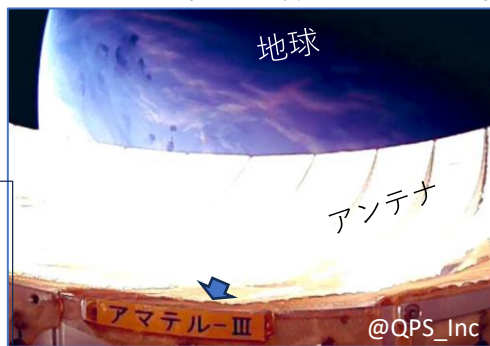
LZ-4

SLC-4Eのとなり 打上げ成功!



@QPS\_Inc

打上げ約21時間後、アンテナが展開されました。衛星名札がみえます。



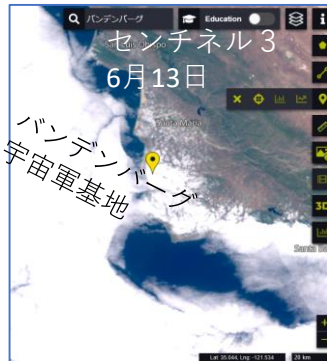
地球

アンテナ

アマテル-III

@QPS\_Inc

[https://twitter.com/QPS\\_Inc/status/1668908175565946881](https://twitter.com/QPS_Inc/status/1668908175565946881)



センチネル3 6月13日

ヴァンデンバーグ宇宙軍基地

\* 特記のない画像は @spacex @NASASpaceflight: